

今年も扉座（横内謙介氏）は2作品発表

年末12/28には六角精児ライブ

当会会員の横内謙介氏率いる劇団扉座は、今年4月19日・20日に『つか版・忠臣蔵』を再演。この作品は幻冬舎・見城社長の大絶賛を受け、昨年すぐに『幻冬舎プレゼンツ』としての再演が決まった話題作で、更にバージョンアップしての厚木公演でした。11月8日・9日には新作『おんな武将NAOTORA』を公演。女優・有森也実さんが女武将・井伊直虎役に扮した歴史劇で、厚木で大千秋楽を迎え、大喝采となりました。この他4年目となる『厚木舞台アカデミー』



は土日3公演に初挑戦でしたが、塾生達は見事に演じ切りました。今年末12月28日には文化会館にて六角精児ライブも予定。興味のある方はどうぞ幹事まで。
(S62政経 藤野 心)

稲句会 先ずは投句を

俳句に関心のある方の集まり、「稲句会」を発足させました。俳句という何か硬いイメージを持ちがちですが、「人生を楽しむ遊びの一つ」位に考えて一句投句をして頂ければと期待しております。既に俳人の域に達している方から俳句を作るのは小学生以来という方まで、17文字で人生を楽しみましょう。(S35法 高坂義郎)

厚木稲門会短信

▲稲門祭

2014稲門祭が、10月19日(日)に開催された。今年のテーマは、「世界に飛び出せ!!」。好天に恵まれ、1万人以上の校友が模擬店、音楽、講演を楽しんだ。実行委員として参加した「Globalお国自慢」では、各国の自慢料理やドリンクを味わうことができ、人気投票ではブラジルが見事優勝した。(S44理工 武内 晃)

▲厚木慶応三田会20周年

平成26年2月1日厚木アーバンホテルにて、慶応厚木三田会の設立20周年祝賀会が盛大に執り行われた。慶応義塾大学・近隣の三田会立教大学、法政大学の校友会と共に厚木稲門会も招待を受け、吉成会長・鈴木副会長が出席した。会は三代目高橋会長の挨拶で始まり、大学からの祝辞と続き、初代長谷川会長の懐かしい学生時代の披露もあった。三田会の益々の発展を祈る。(S37理工 鈴木清一)

▲日本語ボランティア

市内在住・在勤の外国人のための日本語教室の講師として厚木市と座間市で会員の4人がボランティア活動をしている。生徒は中国、ベトナム、タイ、インド、ガーナ、フランス、ペルー等々だが、熱心に日本語を学ぶ姿に準備の大変さは倍返しで報われている。あなたもいかがですか。(S39政経 二見正春)

レディースの会

平成26年10月23日、レディースの会企画第2弾として「秋の皇居参観」を開催しました。普段なかなか見学する機会のない施設を約1時間15分かけて参観。参加者10名の心掛けがよいため、集合場所の桔梗門をくぐると直前までの雨も上がっていました。よく手入れされた庭園、広大な雑木林はここが大都会の真ん中であることを忘れさせます。松をバックにそびえる富士見櫓は、江戸城の面影を今に留めていました。二重橋から下を見下ろすと今と昔が重なり合う不思議な光景。さて、第3弾はどこに。(S57文 草薙祐子)

英会話同好会

昨年末スタートした英会話同好会、現在会員8名で、目下喜怒哀楽の表現方法を勉強中。先生は豪州出身の美人教師、ピアンカ井上さんで、2児の母親、座間高校等の先生です。日本語も堪能なため、我々が英語での返答に困っている時は、日本語で助け船を出してくれる等、和やかな雰囲気の中で進められています。2020年東京オリンピックで多くの外国人が訪れると思われませんが、その時早稲田精神を発揮し、英語で日本文化の紹介等、何らかの手助けが出来たらと願っています。興味ある方は是非入会を!(S38法 柏木久雄)

囲碁同好会

秋季大会で熱戦を展開

10月5日(日)恒例の秋季大会を「本厚木囲碁クラブ」で開催しました。参加者は北園七段、筒井四段、吉成四段、内藤四段、小林四段、中平三段、猪熊二段、永田初段の8名でした。今回も、賞品の獲得を目指して真剣な手合いが見られた一方、ボヤキや泣きも入る厳しくも楽しい一日でした。初参加の中平さんも健闘されていました。優勝は小林四段が春に続き連覇、二位は内藤四段でした。次回の春季大会も景品を予定し



ています。初参加は大歓迎です。なお、来年6月のオール早稲田囲碁祭(日本棋院で開催)には参加を計画しています。腕に覚えのある方は来年5月の大会に是非ご出席を!(S41法 猪熊克行)